



ベトナム外交学院での講演の実施 ～日越パートナーシップと JICA の協力～

2023 年 10 月 5 日

国際協力機構（JICA）ベトナム事務所

10 月 5 日、JICA は、ベトナム外交学院（Diplomatic Academy of Vietnam）¹の協力の下、「日越パートナーシップと JICA の協力」と題する講演を実施しました。当講演には同学院の日本学科および国際経済学科の学生約 300 名が参加しました。

冒頭、同学院のダン・ホアン・リン国際経済学部長兼教務部副部長より、本講演が同学院の学生が日越関係をより深く理解し、日本への関心を高めてくれることを期待する、と述べました。

講演では JICA ベトナム事務所久保良友次長より、日本は他国に先駆け 1992 年に対越 ODA を再開し、これまで累計で総額 3 兆円規模の協力が行われたこと、この規模は他のドナーと比較してベトナムにおいて最大であるとともに JICA の途上国への協力としてもトップクラスである。このことはベトナムが中国、ラオス、カンボジアに接する東西経済回廊、南部経済回廊の東の玄関口であり、自由で開かれたインド太平洋構想においての要所であるほか、日本の製造業のサプライチェーンの多元化を支える国として、日本がベトナムを重要視していることの現れである、と述べました。

さらに、JICA はこれまで有償・無償の資金協力、技術協力など、様々なスキームを複合的に組み合わせた協力を実施してきたが、近年は、日本の民間企業や地方自治体、大学などの持つ知見やノウハウ、技術の活用や、グローバル企業などへの投融資を通じた協力など、様々なアクターとのパートナーシップによって、ベトナムの課題解決に取り組んでいることなどが紹介されました。

JICA は、2020 年に日本の近代化と開発途上国への開発協力から得た経験と教訓を学ぶ機会を海外にも広げることを目的とし、途上国のトップクラスの大学などを対象にした「JICA チェア」を立ち上げ、ベトナムにおいては 2021 年から事業を開始しています。当講演も JICA チェアの一環としておこなわれており、これまでもベトナム外交学院との協力では、昨年、鶴岡公二（つるおか こうじ）元駐英大使が日本の戦後外交の軌跡と展開についての講義のほか日本研究にかかる図書を寄贈しています。

JICA は、今後、ベトナムが 2045 年の高所得国を目指しさらに発展していくために、対等なパートナーとして協力し合い、ともに成長・発展していくことを目指します。

¹政府機関や国際機関で外交・国際関係に携わる人材の育成を目的とするベトナム外務省直属の高等教育機関。2022 年 9 月に日本学科を含む太平洋学部（Pacific Studies）が開講した。



お問い合わせ: JICA ベトナム事務所 広報班 関 里緒菜

Tel: (+84-24) 3831 5005(内線 137)E-mail: Seki-Riona@jica.go.jp